

すこやかコラム 「がん検診」知っているようで……

1) がん検診には

日本のがん検診は大まかに、市町村が実施する**住民検診**、事業者や保険者が実施する**職域検診**、個人が任意に受ける**検診その他のがん検診**の3つに分けることができます。勤め先を退職された方は、住民検診で受診することができます。



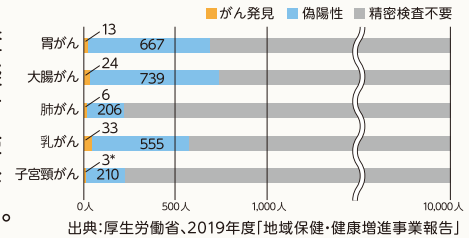
2) がん検診の利益(良いところ)

がん検診は、がん検診の対象とするがんによる**早すぎる死亡を防ぐ**ことです。そのほか、早期発見により治療が軽度ですむこと、本当にがんがない人が検診で「異常なし」と診断されることで安心して生活できることです。子宮頸がん検診と大腸がん検診では、**がんだけではなく、がんになる前の病変も見つけて治療することにより、がんになることを防ぎます**。また、その結果として**がんで亡くなることを防ぎます**。

3) がん検診の不利益(損と感ずること)

がん検診の不利益とは、**偽陰性**(実際にはがんがあるのに、精密検査が不要と判定されること)、**偽陽性**(実際にはがんがないのに、がんの疑いあり「精密検査が必要」と判定されること)、**過剰診断**(治療をしなくても命を脅かさないがんを検診で発見すること)、**偶発症**(検診や精密検査での医療行為による合併症を起こすこと)となった時です。**がん検診を受診した人はどなたでも、これらの不利益を受ける可能性があります**。

がん検診受診者1万人の結果の内訳



がん検診の仕組みは、まずがんの疑いがある人(精密検査が必要な人)を広く拾い上げ、その中からがんがある人を診断するシステムですので、偽陽性をゼロにすることはできません。そして、1回のがん検診ですべてのがんが確実に見つかるとは限りませんので、がん検診は定期的に受けることが大事です。また、「精密検査が必要」と判断された方は、「なんともない」「がんであるはずがない」と自己判断せず医療機関で確実に「がんでない」ことを確認しましょう。

(広報 黒原久美子)

子宮がん街頭キャンペーン

日時: 令和7年4月5日(土) 14:00~
場所: 宮崎駅AMU広場

宮崎県は子宮がん死亡率(75歳未満年齢調整死亡率2023年)が全国ワースト2位で、20歳から30歳代女性に子宮頸がんが増えています。子宮頸がんを予防するために、HPVワクチン接種と20歳になったら定期的な子宮頸がん検診を受診しましょう。



サントクイズ

心房細動に当てはまることは、次のうちどれでしょうか?

応募方法

サントクイズに正解した方の中から抽選で3名の方にクオカード1,000円分をプレゼントします。必要事項をご記入の上、宮崎県健康づくり協会HPのサントクイズ応募フォーム、または、ハガキにてご応募ください。いただいた個人情報は、プレゼント発送のみに使用させていただきます。

前回のサントクイズの答え

D. 遺伝子を調べれば、診断や治療に必ず結びつくでした!

< 必要事項 >

- 1 サントクイズの答え
- 2 年齢
- 3 お名前
- 4 郵便番号、住所
- 5 サントの感想、ご意見など

- A 幅広い年齢層で発症しやすい
- B 心臓の中に血の塊「血栓」ができるリスクがある
- C 無症状であれば脳卒中のリスクはない
- D 無症状の方は1割程度である

応募締切 **令和7年8月25日(金) 当日消印有効**

当選者の発表は、プレゼント発送をもって代えさせていただきます。クイズの答えは次号で発表します。



応募先

応募フォームはコチラ▲

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
宮崎県健康づくり協会「サント宮崎」係

編集後記

令和7年度がスタートしました。

春から健康的な生活をしようと心に決めた方もそうでない方も、健康法を知っているだけでは健康にはなれません。本当に正しいとされている健康法を、きちんと行動に移し、毎日無理なく続けることで健康へと繋がります。でも今まで「続けたいのに続けられない」「やめたいのにやめられない」そんな悩みをお持ちの方、やってみないと何ともわかりません。ダメだった時は、また始めれば良いんです。正解はありません、体にいい事、なにかやってみよう。